

## 第6分科会 第1会場

「共同組織の“わ”を強め、  
あらたな担い手を広げるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 9F 大ホール

演題番号 6-1-1

| 県連名               | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|-------------------|---------------|-------|
| 愛知                | 尾張健康友の会       |       |
| 発表者氏名             | 所属と役職         | 分科会番号 |
| イケヤマ ミツオ<br>池山 三男 | 丹陽支部 支部長      | 第6分科会 |

| 発表テーマ                    |
|--------------------------|
| 楽しく健康づくりをするために支部をつくりました！ |

内容（発言要旨）

尾張健康友の会に新しい支部ができました。  
 地域サロンのような交流の場を作りたいと班活動を再開させたことが契機となり、2つだった班の数も6つに増やすことができました。近くで活動する班との共同や、老人会との共催を模索する中で「支部を作って実現してはどうか？」との話になり、2018年から役員候補者に声をかけて「支部化への話し合い」を毎月のように開催。話し合いの中で、支部を作るにも会員の顔が見えていないとの意見がだされ、公開講座や2回の配達協力者交流会を開催し交流を深めました。2023年10月の家族健康まつりでは、丹陽地域に住む大工の会員を中心に「木材切り体験コーナー」を出店し、60名の親子に体験してもらいました。話し合いの回数を重ねる毎に役員候補者が増え、交流会や出店企画で率直な意見を交流したことで、少しずつ支部としてのイメージが出来上がり、2024年3月に支部結成総会を開催することができました。  
 結成総会では、自分たちが楽しいと思う活動をするので、健康づくりと仲間増やしにつなげようと「みんなで楽しい支部にしよう」との合言葉を決めました。

| 所属している組織の概要  |                          |
|--|--------------------------|
| 愛知県一宮市千秋町にある医療法人尾張健康友会を母体とする尾張健康友の会は、会員数4951名、8支部あります。<br>丹陽支部は、尾張健康友会の南側に隣接する地域です。会員数は257名で、6つの班が活動しています。 |                          |
| TEL 0586-76-8312   | メール tomonokai@chiaki.com |

演題番号 6-1-2

| 県連名               | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|-------------------|---------------|-------|
| 山口                | 医療生活協同組合 健文会  |       |
| 発表者氏名             | 所属と役職         | 分科会番号 |
| ヤマサキ イクヨ<br>山崎 郁代 | 防府支部          | 第6分科会 |

| 発表テーマ             |
|-------------------|
| 医療生協 健文会の平和への取り組み |

内容（発言要旨）

山口県の防府市に健文会として7年ぶりに新たな支部が結成されました。この防府市には健文会の事業所は無いのですが、組合員は100名ほど登録されていました。防府市在住の新任理事として民医連、医福連の理念に感銘し、「なぜ防府市の組合員が100名もいるのだろうか」と疑問に持ち全組合員訪問を実施することにしました。その中には1970年代に健文会の「小児歯科」が宇部市にあったことから、35キロ離れた防府市からわざわざ受診をしたことで組合員になられた方がいたり、だれもがかかれる医療機関として好感を持たれている方がいることを知りました。事業所の無い地域でも、「理念」に基づいた「まちづくり」がしたいと思い、支部結成の早期実現を目指しました。そこで支部結成に協力してくれる運営委員と一緒に通信教育を受けたり、準備委員会を定例開催することで、運営委員の自覚も生まれ、2022年から2年間の間で100名だった組合員を150名を超える人数にすることができました。そうした中で、2024年3月27日に「防府支部結成総会」を開催し、晴れて医療生協健文会の新支部となることができました。この間の取り組みの中で、事業所の無い地域だからこそ「理念」を大切にし、それを訴えることでなかまが増えていくことに確信が持てました。今後は地域に必要とされる活動を続け、ひとりでも多くの方とつながっていきたいと思います。

| 所属している組織の概要   |                               |
|---|-------------------------------|
| 活動拠点は山口県宇部市宇部協立病院。活動地域は宇部市、山陽小野田市、下関市、山口市、美祢市、防府市となり、診療所2か所、歯科診療所3か所、介護事業所、訪問STなど9か所を有している。組合員18,904名 出資金5億8596万円 |                               |
| TEL 0836-34-2510  | メール sosiki_keubun@yahoo.co.jp |

演題番号 6-1-3

| 県連名            | 所属共同組織名又は事業所名   |       |
|----------------|-----------------|-------|
| 大阪             | 大阪みなみ医療福祉生活協同組合 |       |
| 発表者氏名          | 所属と役職           | 分科会番号 |
| スギハラ<br>杉原 まつ子 |                 | 第6分科会 |

| 発表テーマ       |
|-------------|
| 住んでいる地域に支部を |

内容（発言要旨）

地域での訪問などで特に高齢者の方々が足腰が痛い  
 外出もせず家で過ごしている姿をみて何かしよう  
 と  
 まず、フレイル予防の体操から始め支部結成に  
 こぎつけます。

演題番号 6-1-4

| 県連名                 | 所属共同組織名又は事業所名           |       |
|---------------------|-------------------------|-------|
| 京都                  | 京都東健康友の会山科ブロック<br>大宅診療所 |       |
| 発表者氏名               | 所属と役職                   | 分科会番号 |
| コウダ ケンタロウ<br>甲田 賢太郎 | 事務局                     | 第6分科会 |

| 発表テーマ             |
|-------------------|
| 0から3へ 支部づくりが大躍進!? |

内容（発言要旨）

山科健康友の会は2022年10月に最初の支部を立ち上げました。そして、2024年には2つ目、3つ目の支部が生まれようとしています。そこへ至る苦勞と喜びのお話です。  
 山科健康友の会は2017年に支部をつくろうと方針を決定しました。それまで、支部はなく、「会」全体で取り組む、一泊旅行や食事会、サークルなどのほか、700名以上が受診する健診が活動の中心でした。  
 さあ、支部をつくろうと学習会を開いたりしましたが、コロナの影響もあり、取り組みがストップしてしまいました。  
 しかし、顔を合わせておしゃべりしたいという、会員さんの願いを叶えるためには「やっぱり支部だ」と改めて確認し合い、再び具体化に向けて動き出しました。  
 2022年に入り、まずは診療所周辺のある地域で準備会をスタートし、その年の10月に結成総会を開催しました。以降、コロナなども影響を受けることなく、毎月のおつまりを継続しています。  
 さらに2つの地域での支部準備会が立ち上がり、定期的なおつまりを持ちながら、正式な支部結成へ取り組みを続けています。

| 所属している組織の概要  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 活動地域は、大阪府岸和田市。活動地域の人口は約29000人。所属する共同組織の人数は約27900人。 |                                 |
| TEL 090-5137-3251                                  | メール matsuko.sugihara@outlook.jp |

| 所属している組織の概要  |                                |
|--|--------------------------------|
| 京都市山科区と伏見区の一部。人口は山科区約13万人、伏見区（醍醐地域）約1.5万人。会員数は約1,900名（世帯）。 |                                |
| TEL 075-581-5207   | メール oyake-jim@shinwakai-min.jp |

演題番号 6-1-5

| 県連名   | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|-------|---------------|-------|
| 北海道   | 道東勤医協友の会連合会   |       |
| 発表者氏名 | 所属と役職         | 分科会番号 |
| 飯田 尚志 | 鳥取支部 事務局長     | 第6分科会 |

| 発表テーマ                                |
|--------------------------------------|
| 地域での結びつきを強め、繋がり・広がりて生き生きと活動するサークルづくり |

内容（発言要旨）

①会員のつながりを広げ、健康で交流できる活動づくりを重視してきました。「ふまねっと」活動をきっかけとして、会員の声や要望に応じて、日常的に活動できるサークルを支部として、結成を会員に呼びかけてきました。②現在は、5つのサークルで活動しています。・「ふまねっと」・「百人一首」・「健康サロン童顔」・「なかよしピンポン」・「ポッチャ鳥取」を月2回、それぞれのサークル活動が重ならないように調整しています。会場は、使用料のかからない「老人福祉センター」をメイン会場として行っています。③毎月の活動日は延15日となります。23年度の参加者は5サークル・延1,681名となっています。④毎月、各活動の参加者集約や活動上の課題や思いを月初めの「支部役員会」で交流しており、参加者は12回開催で延156名で課題を共有しています。各サークルの担当や事務局には、支部役員が分担して担当しています。⑤会員へ開催日や会員募集の案内は、毎月41名の会員が「連合会友の会ニュース」に「支部ニュース」を同封して、1,676戸へ手配りをしており、年間にすると20,112回配布したことになります。⑥「いつでも元気」販売所は、毎月6名の会員で48部の配布・集金をしています。⑦支部のサークル活動の他に、一層会員のつながりや広がり求めて、支部主催の行事も行っています。「支部総会」・「春・秋の湿原ウォーキング」・「年3回のパークゴルフ交流会」（40回になります）・「観楓会&温泉小旅行」・「ニュース手配りご苦労さん会」・「新春のつどい&そば打ち体験」9行事で延255名参加されました。⑧協立病院の医師を含む方々の「医療チーム」が講師を務める、「医療懇談会」を年3回開いています。また、「友の会集団健康診断・検診」にも取り組んでいます。⑨私たちはこれらの活動を通して、地域における人たちの健康や人と人のつながりや交流をとおして「健康で生き生きできる地域づくり」を進めていきたいと考えています。

| 所属している組織の概要  |                                    |
|--|------------------------------------|
| 道東勤医協友の会連合会の支部として、鳥取支部を結成して37年経ちました。対象地域は、日本製紙の城下町として発展してきましたが、3年前に工場が撤退して人口や世帯が減少しています。会員4,165名（人口比14%）世帯数2,290戸（15.7%） |                                    |
| TEL 0154-64-9323   | メール iida.takashi@camel.plala.or.jp |

演題番号 6-1-6

| 県連名    | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|--------|---------------|-------|
| 徳島     | 徳島健康生活協同組合    |       |
| 発表者氏名  | 所属と役職         | 分科会番号 |
| 安富 千恵子 | 国府支部 運営委員     | 第6分科会 |

| 発表テーマ      |
|------------|
| 班づくりに取り組んで |

内容（発言要旨）

高齢者の健康寿命の延長が課題となっている現在、健康づくりに強い関心をもっていた。そんな時「笑いヨガ」の本に出会い、班づくりに取り組みたいと考えた。まず支部総会の2023年度活動方針の健康づくり項目に、笑いヨガ学習と実践に取り組むことを明記して運営委員会で検討することにした。そして班づくりの目標や目的を明記、学習内容や進め方なども記入スケジュールを作った。資料での学習やビデオでの体験学習を重ね、5月から取り組み12月に「笑いヨガ班」を発足させることができた。班づくりには、目的や目標などを明記して計画的に進めること、それと同時に実情にあわせて柔軟に対応すること。また、自身のモチベーションの維持管理の重要性、そして周囲のサポートが力になるなど実感した。班活動は支部活性化の要であることも再認識できた。今後も班活動を継続させ健康づくりに関わりたいと思う。そして「笑いヨガ」の健康効果も実感していきたい。

| 所属している組織の概要  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 活動地域は、徳島県徳島市国府町。活動地域の人口は約13000人。所属する共同組織の人数は約900人。 |                                     |
| TEL 090-7781-8145                                  | メール k-ishii-eiyo@kenkou-seikyuu.com |

## 演題番号 6-1-7

| 県連名               | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|-------------------|---------------|-------|
| 京都                | 伏見健康友の会       |       |
| 発表者氏名             | 所属と役職         | 分科会番号 |
| オウラ 尾浦<br>クニヒコ 邦彦 | 友の会幹事         | 第6分科会 |

| 発表テーマ              |
|--------------------|
| 友の会サークルが会員さん同士をつなぐ |

## 内容（発言要旨）

新型コロナウイルスの感染拡大で、一時活動休止を余儀なくされた友の会サークル。会員さん同士が集まる機会が失われる中で、亡くなる方や、施設入所される方も増えていた。友の会活動が再開されると、会員さんがしたいことを、気楽に集まれるサークルをいくつも作って、「集う場」とし、つながりを大切に拡げることが役員会で決めた。新たなサークル「囲碁・将棋サークル」「絵てがみサークル」「脳トレ・リズム体操」「いつでも元気読者会」ができて、友の会会員さんの参加の裾野を拡げている。「いつでも元気読者会」では、元気誌を配達する際、案内チラシで声をかけ、当日は送迎も行っている。「カラオケサークル」や「うたごえサークル」でも、会員さんが気楽に参加できるように、送迎を行い、「絵手紙サークル」はグループラインを活用したり、各サークルが工夫しながら活動を行っている。サークルに入りたいと会員になった方が、友の会の行事に参加したり、「いつでも元気」の読者になったりなど、つながりを深くするのにもサークル活動は重要になっている。

| 所属している組織の概要   |                            |
|---|----------------------------|
| 京都市伏見区は人口約277,000人。京都市の中で一番多く、伏見健康友の会は伏見区唯一の民医連診療所である京都市城南診療所に事務所を置き、活動しています。会員数は1258人。 |                            |
| TEL 075-623-1134  | メール soumu@jounanshin.or.jp |

## 演題番号 6-1-8

| 県連名                                      | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|--|---------------|-------|
| 京都                                       | 綾部健康友の会       |       |
| 発表者氏名                                    | 所属と役職         | 分科会番号 |
| オオツキ 大槻<br>カワハラ 川原<br>トモコ 智子、<br>クミコ 久美子 | サークル責任者       | 第6分科会 |

| 発表テーマ     |
|-----------|
| アロマサークル活動 |

## 内容（発言要旨）

2021年6月よりアロマサークルの活動を始めて今年で4年目を迎えました。丁度コロナ禍で色々な制限がある時ではありましたが、そんな時だからこそアロマの特性を活かして感染から身を守り、そして少しでもストレスから解放される癒しの場になれば、と言う事でスタートしました。

月に2回、土曜日と火曜日に場所を変えて活動しています。毎月10名前後の参加者があります。アロマの精油を使ってのクラフト作りやハンドトリートメントをしています。その場は会話がはずみ和やかな雰囲気に包まれています。

「今日はマスクプレーを作りたい～」「夫のこむら返りのオイルがなくなったので…」「肩こりと腕が痛くて…」「友人が病気の治療中で…」「手がカサカサでハンドクリームを～」「認知症予防には何が良いの？」色々な体の不調から予防や美容まで日々の生活で使えるものを作っています。そして良い香りに包まれて癒されています。

又、80代の認定証の方は「ここに来るのが楽しみですね。」と月2回娘さんと参加され、二人の居場所にもなっています。

6月のラベンダー摘み、平和健康まつりでのクラフト作りとハンドトリートメントが年間の行事となっています。

今後もアロマを安全に使って、人に寄り添い、お互いが健康な生活を送れるような活動をしていきたいと思っています。

| 所属している組織の概要  |                            |
|--|----------------------------|
| 綾部健康友の会は、1987年に結成され37年になり、綾部市を中心に約2150名の会員が活動をしています。 |                            |
| TEL 0773-43-0519                                     | メール tomonokai@ninokuni.net |

演題番号 6-1-9

| 県連名                                    | 所属共同組織名又は事業所名         |       |
|--|-----------------------|-------|
| 大阪                                     | 健康友の会みみはら             |       |
| 発表者氏名                                  | 所属と役職                 | 分科会番号 |
| ハヤミ エイコ<br>速水 英子・<br>ナガイ サチコ<br>長井 佐智子 | 新金岡支部世話人・<br>新金岡支部支部長 | 第6分科会 |

| 発表テーマ                          |
|--------------------------------|
| 2支部共同サークル 「絵のある畑」メリアガーデンサークル活動 |

内容（発言要旨）

メリアガーデンのサークル活動から

新金岡支部は、2024年2月末現在、「健康友の会みみはら」会員世帯数1,459世帯、個人会員数3,522人、サークル数15、支部世話人8名で運営。

2022年2月、2支部合同で子ども食堂に安全な野菜類を提供できればと、「メリアガーデン」を立ち上げた。場所は、堺市の北側大泉公園地に隣接、調整区域の一角。

サークルの運営は、立ち上げ時に両支部から財政的支援でスタート。畑の行事の度に「健康友の会みみはら」の旗を掲げ、他の10世帯の畑の方たちの協力・共同し運営している。

会員は7名、毎月定例会議で季節ごとの畑の作付け、作業内容、収穫祭の企画・運営や研修などに応えている。

収穫物は無農薬・有機肥料栽培を行い、収穫物は3つのルールの下利用。

畑の様子や活動は、インスタグラムで区役所の小冊子に紹介、「同仁会報みみはら」に「体験学習」が紹介、この活動が若い会員加入の場になり、次世代の世話人の方の参加につながればと思う。

| 所属している組織の概要   |                            |
|---|----------------------------|
| 大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。 |                            |
| TEL 090-9710-6498   | メール sachiko11317@gmail.com |

演題番号 6-1-10

| 県連名               | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|-------------------|---------------|-------|
| 石川                | 石川県健康友の会連合会   |       |
| 発表者氏名             | 所属と役職         | 分科会番号 |
| ムラナカ キヨコ<br>村中 湛子 | 南加賀ブロック       | 第6分科会 |

| 発表テーマ      |
|------------|
| スマホ班会の取り組み |

内容（発言要旨）

仲間が次々にスマートフォンを持つようになった。十分に使いこなせない事が共通の悩みとして頻繁に話題にあがるようになり、地域の担当職員と相談。2021年に不定期の班会としてスタート。仲間同士の集まりでもあり質問も気軽にでき、高齢者に合わせた親切丁寧な指導が大変好評であった。2022年には班会としての課題も見えて来ていたことから、不定期開催を月に一度、機種ごとの3つの班会に分けて再スタートを切った。班を機種ごとの少人数に変えたことで進み具合の違いや、スマホでやりたい事の要求に合わせての内容にできたことで参加者の満足度は上がり、参加人数が増えている。2024年4月からは4つの班に分かれて開催。日常の中でのメッセージのやり取りが活発になり、班会全体でお花見や動物園に行き、スマホで写真や動画を撮り送り合ったりと活動が進んでいる。コロナ禍で内に籠りがちであったが、地域との繋がりが深まり、職員との協力で新しい事へチャレンジしていく気持ちが大きくなっている。

| 所属している組織の概要   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 活動地域は、石川県能美市、小松市、加賀市。活動地域の人口は約5万人。所属する共同組織の人数は約8300人。 |                                 |
| TEL 0761-58-5028                                      | メール minamikaga.kenkoo@gmail.com |

演題番号 6-1-11

| 県連名                | 所属共同組織名又は事業所名 |       |
|--------------------|---------------|-------|
| 宮城                 | 大崎健康福祉友の会     |       |
| 発表者氏名              | 所属と役職         | 分科会番号 |
| カフマタ 勝又<br>ノブツダ 信嗣 | 遠田支部長         | 第6分科会 |

| 発表テーマ                                 |
|---------------------------------------|
| 診療所閉鎖してからのサークル活動の発展と3年連続会費納入100%を達成して |

内容（発言要旨）

共同組織とともに歩んできた古川民主病院付属こごた民主診療所が医師の配置が困難になり、15年間の活動を終え閉鎖しました。遠田支部は、友の会会員さんと繋がりを保つために旧診療所施設を利用し、サークル活動と協力友好団体の会議などに有効活用しています。サークル活動では7つのサークル（おしゃべりカフェ、絵手紙、墨絵、囲碁、健康麻雀、手打ち蕎麦、映画）を誕生させ、月1回～4回開催しています。この活動を通じて、繋がりを強めながら楽しい地域活動を行っています。サークル活動の活発化で、友の会活動に対して多くの協力者が現れ、役員、協力者を誕生させています。大きな支部行事としては、年4回のグラウンドゴルフ大会、健康まつり、地区健康講話会などを行い、会員以外の参加を大歓迎して取り組んでいます。

その勢いで支部役員会は、多くの会員さんとの繋がりを大事にする活動「全会員とつながろう」を合言葉に会費納入3年連続100%納入を達成させています。会員訪問の目的は、最初に会員さんの近況を伺うこと。次に友の会活動への要求を聞き行事の案内をします。そして会費のお願いを訪問活動の基本と意識して取り組んでいます。この取り組みで、会員さんとの信頼関係が強まり、会費納入率100%を続けています。

今の問題は、高齢者の要求に対応しながら、若い層の要求に応える組織が急がれています。

| 所属している組織の概要  |                     |
|--|---------------------|
| 活動地域は、宮城県遠田郡美里町及び涌谷町。活動地域の人口は約36,500人。所属する共同組織の人数は761人（441世帯）。 |                     |
| TEL 0229-34-2259   | メール tadano@zmkk.org |

演題番号 6-1-12

| 県連名                | 所属共同組織名又は事業所名            |       |
|--------------------|--------------------------|-------|
| 京都                 | 京都市・右京健康友の会<br>(西京健康友の会) |       |
| 発表者氏名              | 所属と役職                    | 分科会番号 |
| ヨシダ キョウコ<br>吉田 貴代子 | 常任幹事                     | 第6分科会 |

| 発表テーマ                    |
|--------------------------|
| 診療所がなくなっても、友の会活動は続いています！ |

内容（発言要旨）

1997年4月、私たちのまちに小さな診療所が建てられました。長い間、小児科かみの診療所は地域の子育てのパパやママたちに寄り添い、たくさん子どもたちを育てられました。

しかし、2019年12月末、コロナ禍のもと診療所はたくさんの人に惜しまれながら閉じられることになりました。

私たち西京健康友の会（支部）は活動の拠点を失いましたが、当時ささやかながらも活動していた「かつらがわ歌う会」は、指導とピアノ伴奏をSさん（患児のママ）に引き続きお願いでき、存続することになりました。現在毎年、西京区の「うたごえまつり」に出演し、「府民音楽祭」でも高い評価をいただいています。

2023年秋には、4年間休止していた「西京こどもまつり」も再開して、診療所の元患者さんや地域の親子づれが新たに参加されて、参加者800人で大盛況でした。

西京区の社会保障推進協議会に独自に加盟して、定期的に食材支援プロジェクトの取り組みにも参加しています。

地域のみなさんの要望にそって、医療懇談会を毎年開催、今後さらに充実させて取り組みたいです。

共同していた小児科診療所が閉じられ西京健康友の会（支部）は活動の拠点を失いましたが、うたごえサークルや医療懇談会を通じて会員を増やし、「こどもまつり」の事務局を担当したり、「食料支援と相談会」へ10回以上の協力を重ね、西京区での存在意義を発揮してきました。

事業所頼みができない中、自立した力をつけて活動してきた経験を発表いたします。

| 所属している組織の概要   |                               |
|---|-------------------------------|
| 活動地域は、京都市西京区。活動地域の人口は約14万4千人。会員数714名（京都市・右京健康友の会全体は1万2千名） |                               |
| TEL 090-4277-0675   | メール kyoutonakaukyou@gmail.com |